

伊勢湾流域圏の概要



◆伊勢湾の主な希少な生物

- ・アカウミガメ(爬虫類)
- ・シロウオ(汽水・淡水魚類)
- ・シロチドリ(鳥類)
- ・カワラハンミョウ(昆虫類)
- ・ハクセンシオマネキ(甲殻類)



アカウミガメ



シロチドリ

◆沿岸部の国立公園等



伊勢志摩国立公園
(志摩半島等)

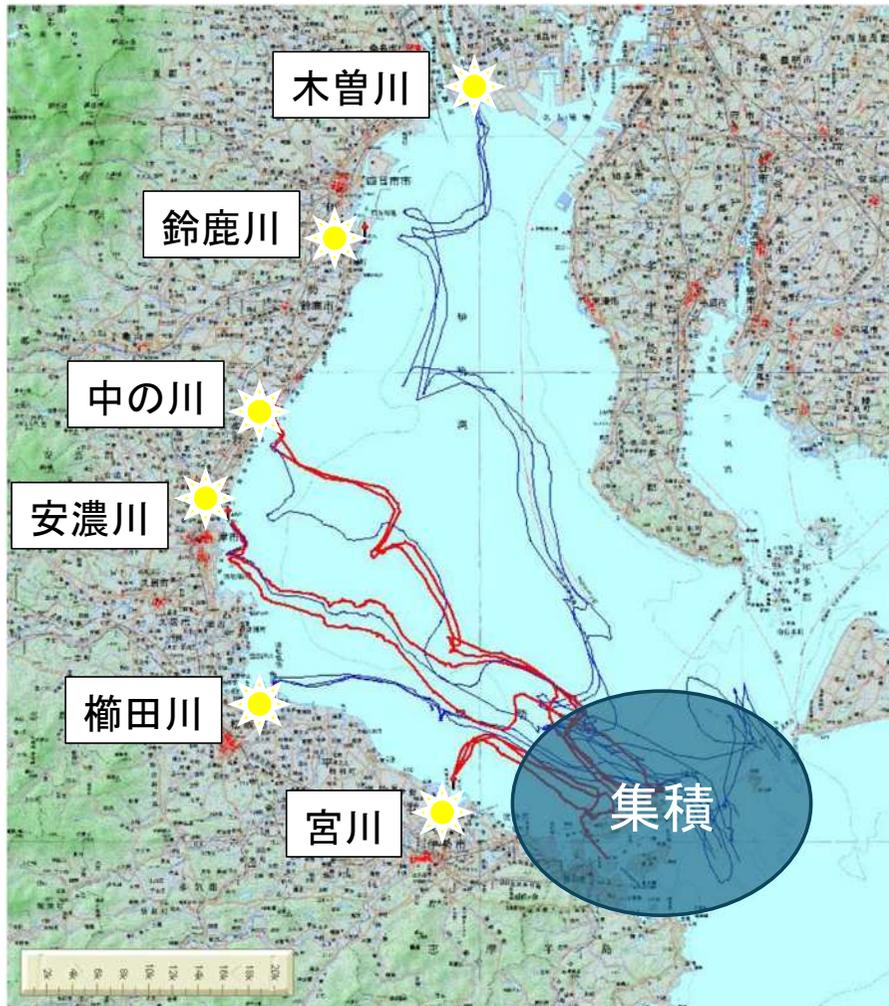


三河湾国定公園
(知多半島、渥美半島等)

◆主な離島

- ・答志島、菅島(三重県鳥羽市)
- ・佐久島(愛知県西尾市)

漂流ボトル調査 (H19年度)



◆調査方法

- ・三重県内の6河川の河口部からそれぞれ3本ずつ発信機入りボトルを放流
- ・5日間追跡
H20.1.5. ~H20.1.12

◆調査結果

- ・赤: 答志島と坂手島に漂着したボトルの軌跡
- ・青: 赤以外のボトルの軌跡
- ・10本が伊勢湾内に漂着
そのうち、6本が答志島、1本が坂手島に漂着

三重県及び伊勢湾流域圏での取組が必要

答志島付近に集積される海洋ごみの問題



H29.10.8 鳥羽市答志島 奈佐の浜



H29.10.24 鳥羽市答志島 奈佐の浜



H29.10.24 鳥羽市答志島 桃取港

漂着ごみのモニタリング調査(R2年度～)

○組成調査地点



○調査概要

- ・漂着ごみ組成調査ガイドライン(環境省)に基づき調査
(漂着ごみ(2.5cm以上)を種類別に分類し、容積等を調査)
- ・県内の3地点にて、夏季、冬季それぞれ1回ずつ実施



写真1. 鼓ヶ浦海岸

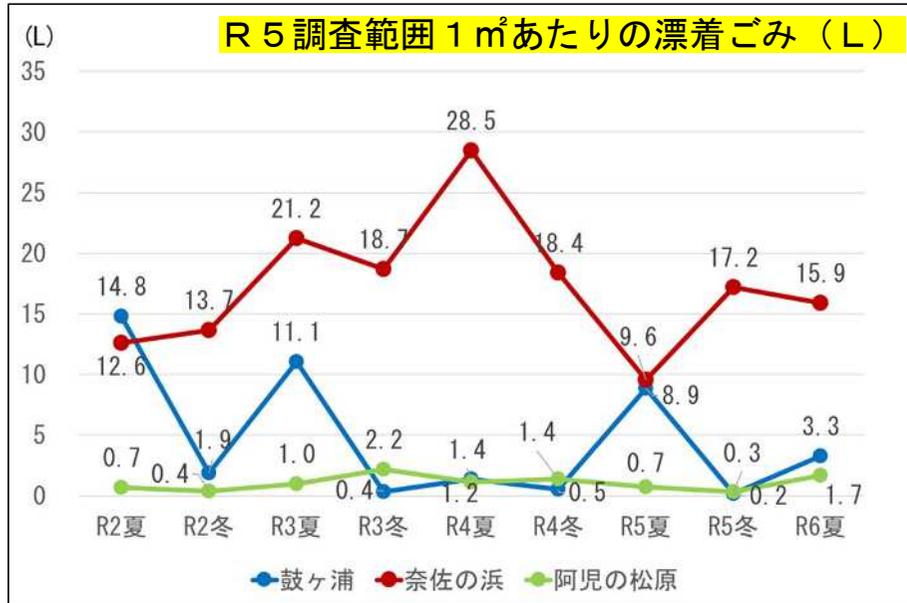


写真2. 奈佐の浜海岸

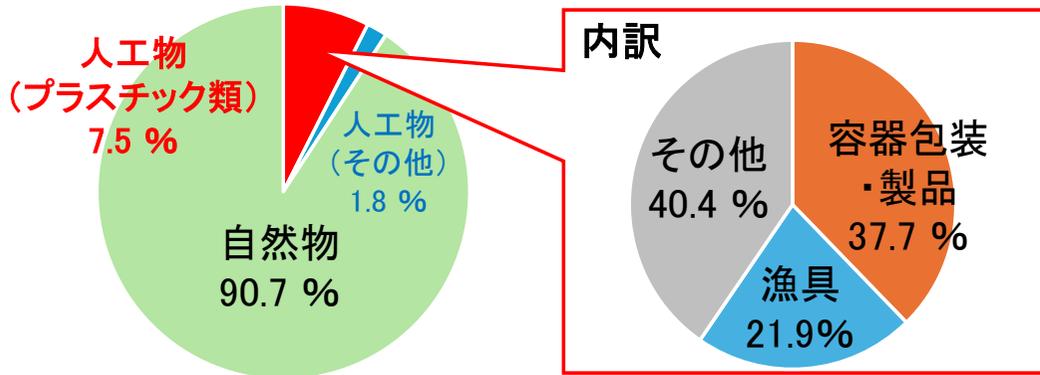


写真3. 阿児の松原海岸

調査 漂着ごみの分類調査(R5年度)



R5年度調査結果概要 (3地点合計・容積換算)



調査の様子



分類の様子



自然物(流木)



製品(ボトル・キャップなど)



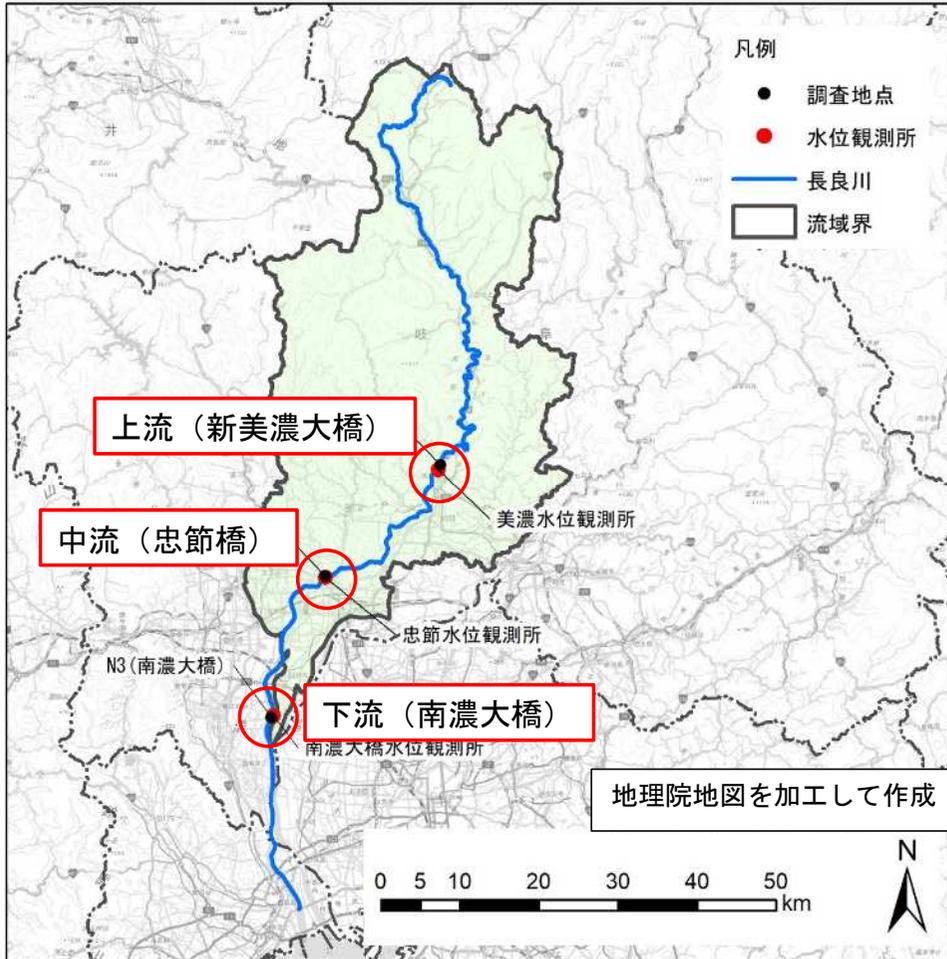
漁具(フロート)



製品(マスク)

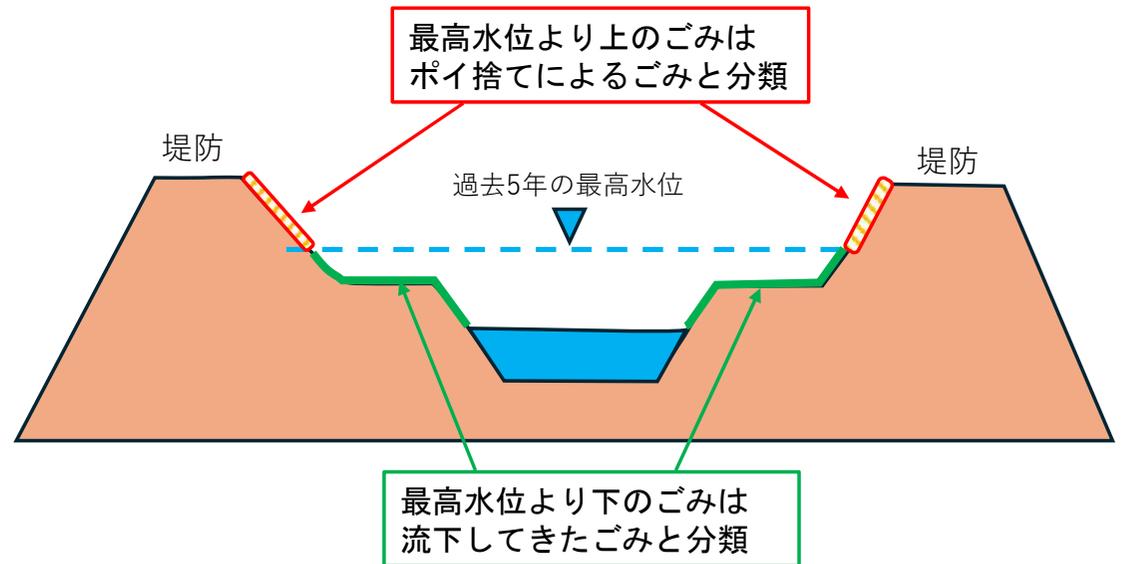
漂着ごみの例

○調査地点(長良川)

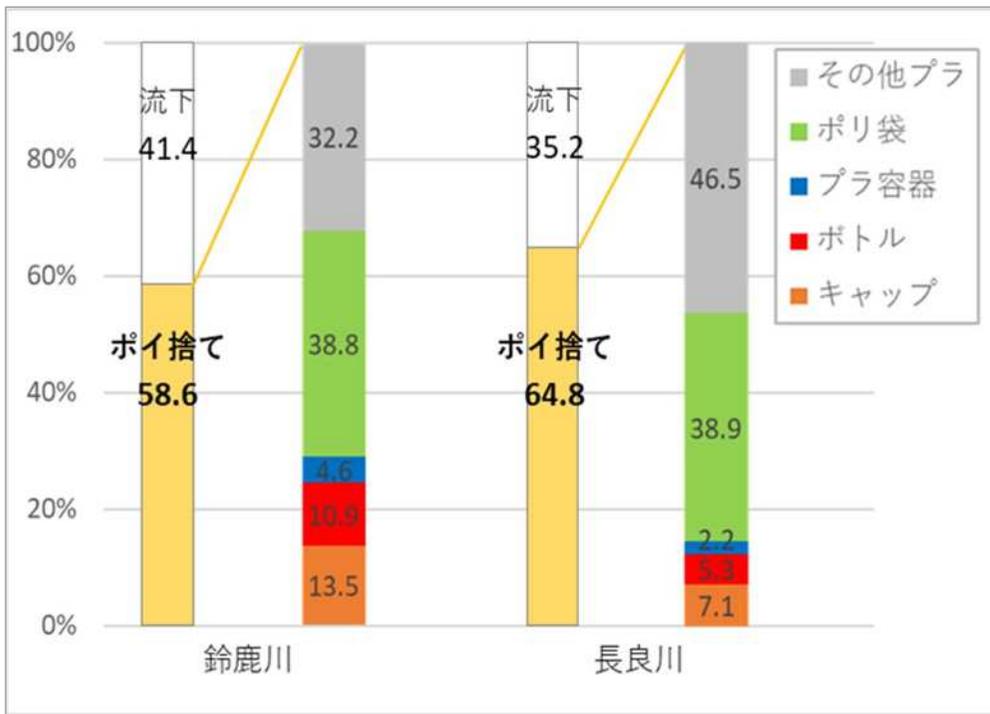


○調査方法

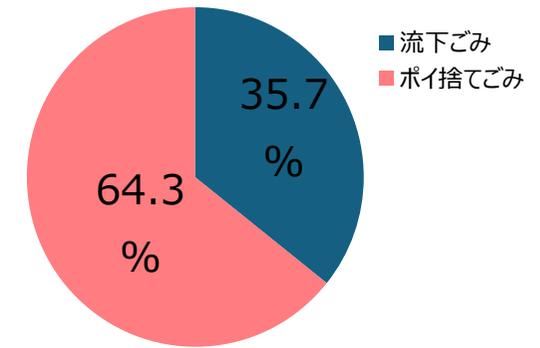
- ・県連携を重視した隣県を跨ぐ河川(鈴鹿川・長良川)にて上流、中流、下流の散乱ごみ調査を実施
- ・経験水位を境に、上を「ポイ捨てごみ」、下を「流下ごみ」と分類して取りまとめ
- ・調査結果は、広域的な発生抑制対策の検討に活用



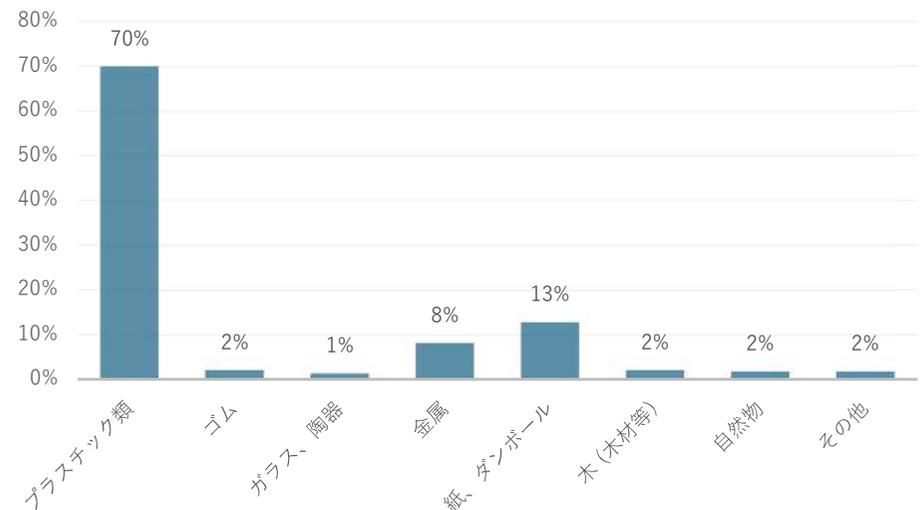
○調査結果概要



図：河川敷の散乱ごみのうち、プラスチックの個数割合



図：散乱ごみ、流下ごみの個数割合



図：ポイ捨てごみの内訳